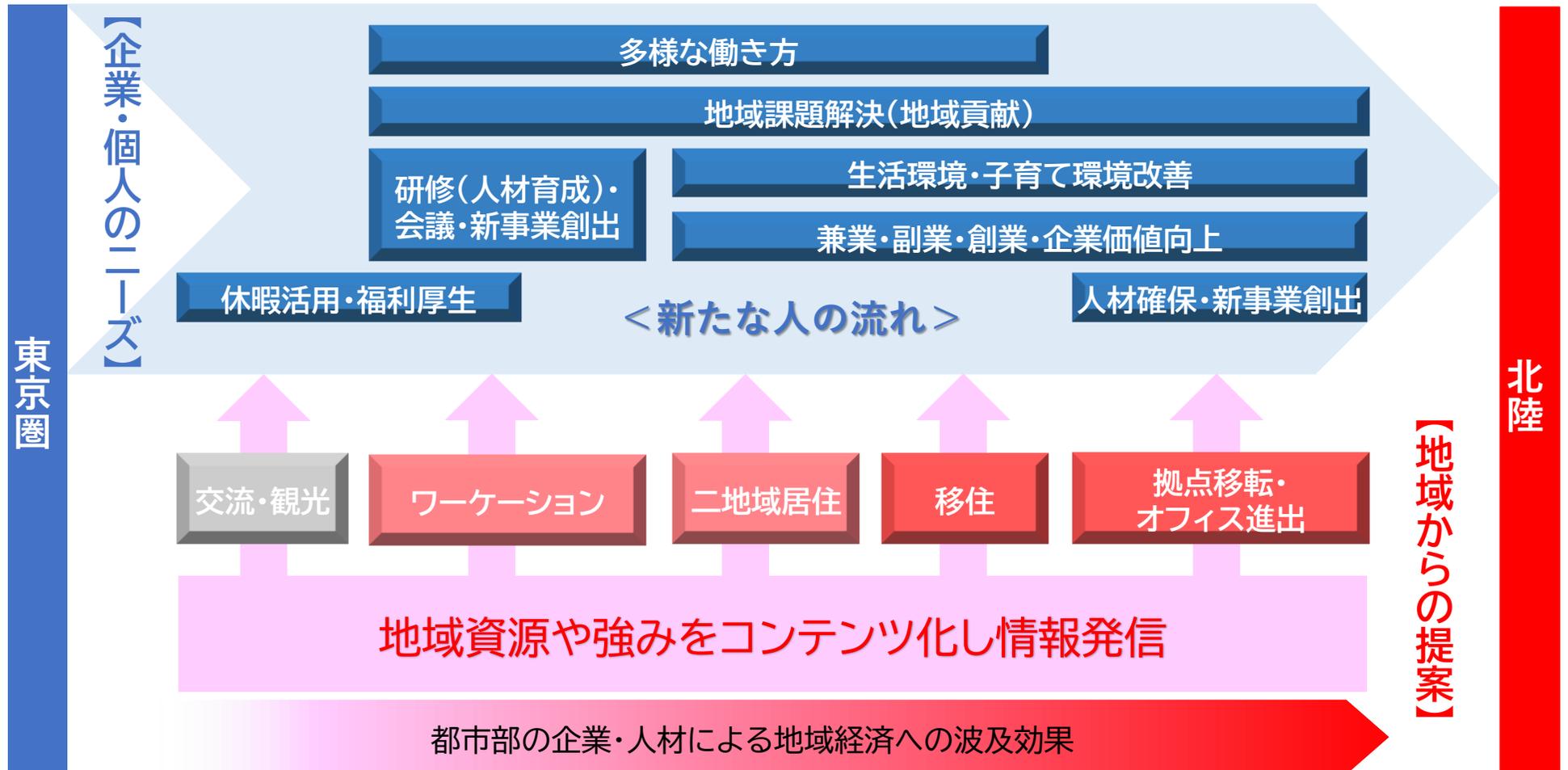


北陸地域における
新たな人の流れの創出に向けて

令和4年4月
北陸財務局

1. 新たな人の流れの創出に向けた戦略的取組

- ◆ (テレワークの普及を背景とした)新たな人の流れを呼び込むうえでは、**地域資源や強みをコンテンツ化**し、都市部の多様なニーズの受け皿となりうる提案を行っていくことが重要
- ◆ また、魅力的なコンテンツを磨き、示していくためには、**地域を挙げて戦略的に取組**を進めていくことが重要



2. 戦略的取組における着眼点の整理

- ◆ 地域における戦略的取組について、短期的視点から、「①魅力あるコンテンツ」の組成と、効果的な「②プロモーション」に、中長期的視点から、それらの充実・強化に取り組むための「③地域づくり」に着眼
- ◆ 着眼点ごとの取組を、好循環によって、より高い効果につなげていくことが重要

①魅力あるコンテンツ

多様な地域資源を魅力あるコンテンツに再編集



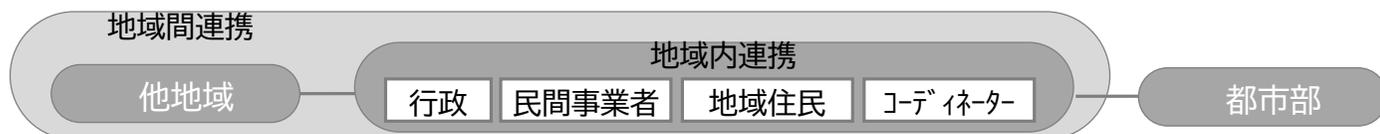
②プロモーション

ターゲットへの効果的な情報リーチに向け、ツールや発信方法などを工夫



③地域づくり

継続的にコンテンツやプロモーションの充実・強化に取り組むため、地域における様々な主体との連携や、地域間の広域連携などの体制を整備



3. 着眼点①魅力あるコンテンツ

- ◆ 魅力あるコンテンツを提供するうえでは、地域の豊かな自然や伝統・文化などの「強み」、人材不足などの「弱み(地域課題)」、北陸新幹線敦賀開業などの「機会」を再編集し、他地域との差別化を図ることが重要

他地域の事例

茨城県
かすみがうら市

～地域の特性を活かした新事業展開へ～

- 当市では、課題解決型ワーケーションとして、ドローンの実証実験(※)をプランに組み込んだモニターツアーを実施(R3.12)
- 地域資源を活用したプロジェクトにより、企業誘致や、地域課題(地域製品のPR・販路拡大等)の解決に向けた新規ビジネス創出などへの発展を目指す

(※)県外企業からの要望を受け、R3年度から霞ヶ浦湖上をフィールドとしたドローンの実証実験を共同実施

テーマ:「ドローンを活用した霞ヶ浦のブランド化」

(R3.12モニターツアー)

実証実験

当市と対岸の美浦村とを直線経路で結び、ドローンで商品等を運搬



市が期待すること

ドローンを活用した地域価値向上に関するアイデアの提供、新規ビジネスの創出、企業誘致 など

企業が期待すること

技術の実証の場、新規ビジネスの創出 など



北陸地域の事例

富山県南砺市

～アニメを入口として企業・人の呼び込みを～

- 当市に所在するアニメ制作会社(株P.A.WORKS)の周辺に、コワーキングスペースやオフィス、スタジオ、アトリエ、カフェ等を備えた複合施設を整備
- 自然豊かな里山に、アニメを中心としたクリエイティブな企業・人が集う場、地域や地元企業等との連携による新たなモノ・コトの創造の場が形成
- 同社の作品(true tears等)の聖地巡礼など、アニメを入口とした関係人口創出や、アニメ関連事業者の呼び込みを図る



南砺市クリエイタープラザ”桜クリエイ”
(桜クリエイHPより)

福井県鯖江市

～ITにより若者に魅力的なまちづくりを～

- オープンデータの先進地であり、行政・市民協働のアプリ開発が進むなど、「IT」がまちづくりの柱の一つに
- 東京等のIT企業6社がサテライトオフィスを構え、IT人材の交流が盛んであるほか、地域内でもIT人材の育成が進む
- これらを通じ、若者に魅力的な仕事を創出、若者の流出を防ぐ

4. 着眼点②プロモーション

- ◆ 効果的なプロモーションとして、
 - ・ 地域一体となったブランディング戦略、
 - ・ ポータルサイトを活用した多様な情報の一元的な発信、
 - ・ 著名人(行政トップやインフルエンサーなど)による情報発信、
 - ・ ネットワークを活用した都市部企業などへの直接的なアプローチ などが考えられる

他地域の事例

長野県

～「信州リゾートテレワーク」を統一ブランドに～

- 地域の特性を表現した「リゾートテレワーク」を統一ブランドとし、県と市町村が一体となってワーケーション誘致に取り組む
- 専用ポータルサイトからの情報発信のほか、主要ビジネス誌への掲載、公式YouTubeチャンネルなどメディアを最大限活用し、大都市圏企業等向けに積極的にPR

チームが
しぜんと、
ワークする。



兵庫県

～知事自ら、県内各地でワーケーション～

- 知事が県内各地に滞在し、地域と交流しながら働く「ワーケーション知事室」の取組を開始
- 知事自らが発信することで、県内の交流人口の増加、地域の活性化を目指す(第1回目はR3.12に北播磨地域にて実施)



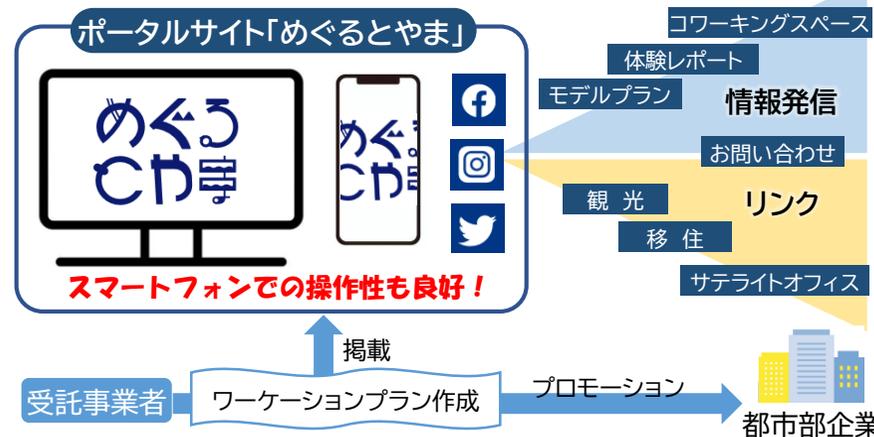
オンライン協議に参加する齋藤知事
(兵庫県HPより)

北陸地域の事例

富山県

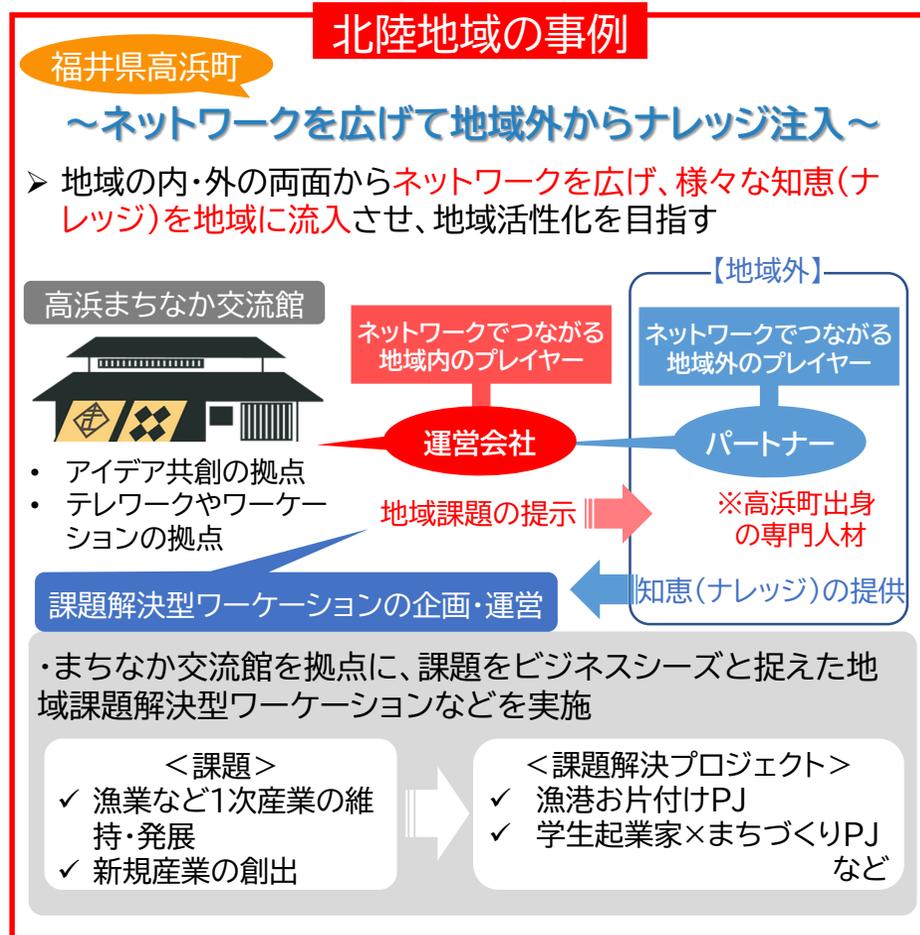
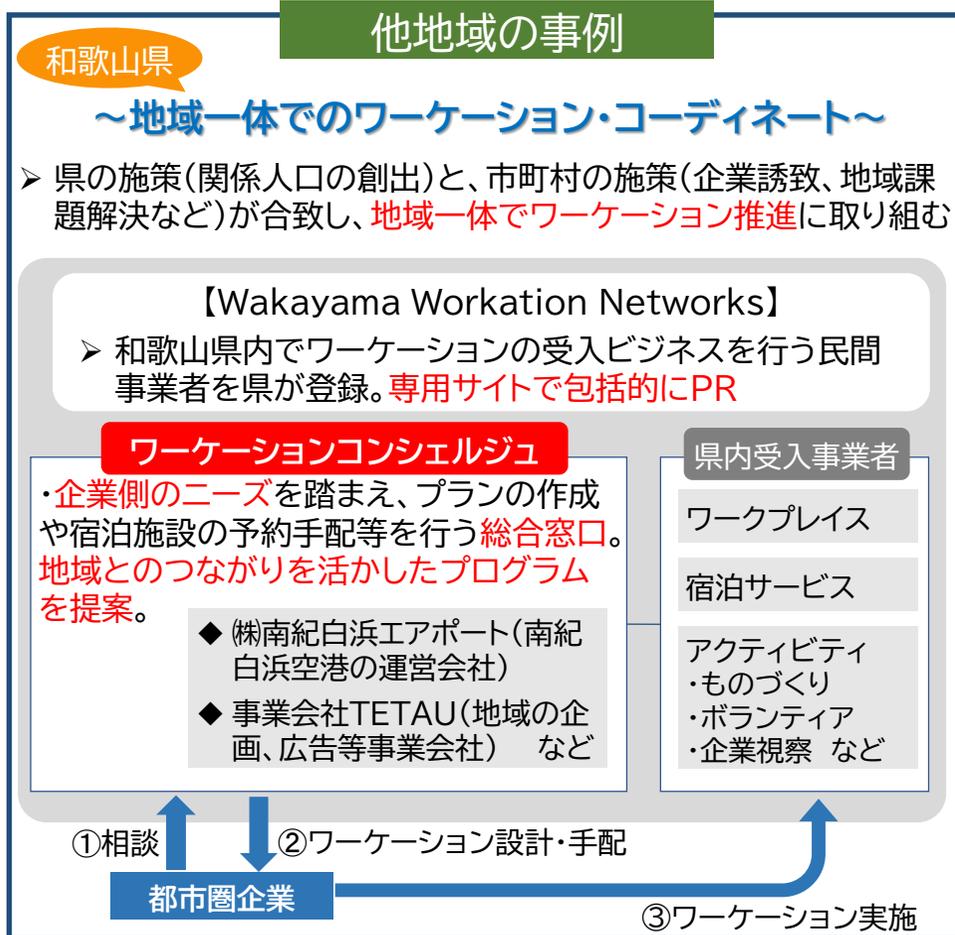
～民間ノウハウを活用したプロモーション～

- 民間事業者への委託により、県内全域のワーケーション関連情報に係る公式ポータルサイトを開設(R3.3)
- 多様なツールを用いた情報発信や一元的な相談窓口を設置。移住やサテライトオフィスに係る関連サイトともリンクするなど、多様なニーズにワンストップで対応
- 受託事業者において、県内全域でのワーケーションツアーを企画・運営。自社のネットワークも活用し、都市圏の企業・テレワーカーなどを呼び込む



5. 着眼点③地域づくり

- ◆ 継続的にコンテンツやプロモーションの充実・強化に取り組むうえでは、地域の様々な主体が連携していくことが重要
- ◆ また、都市部のニーズと地域のシーズ(強み)を効果的にマッチングさせるため、地域のハブとなるコーディネーターの存在が重要

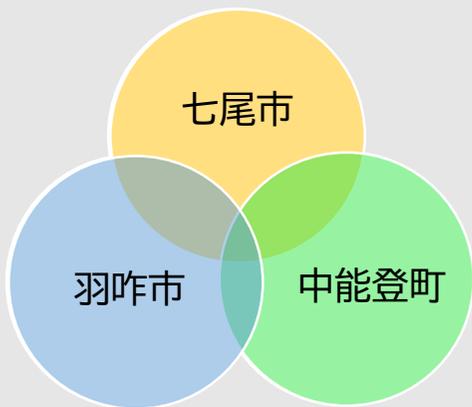


6. 北陸地域における戦略的取組の事例

- ◆ 3市町連携による、「能登地域移住交流協議会」を発足。コンテンツやプロモーションの充実・強化に向け、地域資源の共有や情報発信の一元化、施策の改善など、3市町が一体となって取り組む【七尾市、羽咋市、中能登町】

能登地域移住交流協議会

「能登」を共通ブランドとして連携！



- 移住促進や関係人口拡大に向けて3市町が広域協定(R3.2)
- 地域の観光協会、商工会議所等と連携したイベント等開催
- 3市町でノウハウの共有や役割回りの分担など、効率的に運営

コンテンツの充実

3市町を周遊するワーケーションプラン

3市町の文化財や体験型施設を巡るモニターツアーを実施(R3.12)

プロモーションの強化

ポータルサイト「のと住。」

地域の魅力やコンテンツの情報発信や相談窓口を一元化



海あり、山あり、温もりあり

オンラインイベントの開催

移住者からの地方での暮らし等の紹介や、インフルエンサーからの地域の魅力紹介など

地域の“つなぎ役”との協働

移住プランナー

地域の「先輩移住者」を相談役として委嘱

ワーケーションアンバサダー

3市町にゆかりのある首都圏在住者等をワーケーション広報大使として委嘱(R4年度予定)

多様な層へのアプローチ

- 地方での起業や新規ビジネスに関心のある層
- 地方での子育て(移住)に関心のある層
- ワーケーションに関心のある層 (FacebookにおけるWAJ※フォロワーなど)
- 従業員の福利厚生等に関心のある企業等
- インフルエンサーが発信する情報に注目している層

取組結果を踏まえ、
・強みや弱みの分析
・新たな戦略策定など
連携して取り組む

※WAJ(ワーケーション自治体協議会)

ワーケーション推進に向け、和歌山県、長野県、鳥取県が中心となり設立(R1.11)。加入自治体向け研修事業等を実施するほか、Facebookにて、加盟自治体のワーケーション情報等を発信。R4.4現在、全国の200以上の自治体が加盟

7. まとめ（北陸地域における取組の方向性について）

◆ 北陸地域が目指す取組の方向性として

- (1) **強み**、**弱み(地域課題)**、**機会**を掛け合わせ、**コンテンツの差別化**を！
- (2) **効果的なプロモーション**を！
- (3) コンテンツの充実・強化に向け更なる**広域連携・官民連携**を！

◆ 上記に関し、どのように取り組むべきか

強み

- 良好な生活環境(暮らしやすさ、働きやすさ、子育てしやすさ)
- 豊かな自然環境と多様なアクティビティ(マリンスポーツ など)
- モノづくり企業の集積(アルミ、医薬品、繊維工業、眼鏡枠 など)
- 特徴ある伝統産業(金属箔、輪島塗、銅器、打刃物 など)
- ブランド農産品等(寒ブリ、能登牛、越前ガニ など)
- 稀少な自然遺産(世界遺産、世界農業遺産、日本ジオパーク など)
- 三大都市圏(東京圏、名古屋圏、大阪圏)からの適度な距離 など

弱み(地域課題)

- 若者を中心とした人口流出→生産年齢人口の減少
- 農林漁業における経営基盤の脆弱さ、就労者不足
- 里山里海の荒廃や鳥獣被害の深刻化
- デジタル人材、介護福祉人材の不足
- インフラの老朽化
- 中小企業の後継者問題
- 市街地の空洞化と空き家の増加 など

機会

- テレワークの急速な進展
- 循環型社会づくりへの機運醸成
- 2024年春の北陸新幹線敦賀開業

強み・弱み・機会
の再編集

刺さる
情報発信

連携・協働する
地域づくり

サテライトオフィス
進出

観光

ワーケーション

移住

本社機能移転

テレワーク移住

新たな人の流れの創出へ